

報 会

むすび

いにしへ
古の和を

遷りゆく未来へ

特集

遷宮に向ひて

第33号

平成21年3月吉日

●発行所●
栃木県青年神職むすび会
広報委員会

●発行人●
小幡正之

●印刷所●
伴印刷株式会社



五十鈴川

目次

小幡正之会長挨拶(十八代会長).....	1
荒井和宏会長挨拶(十九代会長).....	2
神道青年全国協議会地区理事 並びに神青協一都七県協議会会長挨拶.....	3
〔特集〕遷宮に向ひて	
神宮研修会.....	4
遷宮特別委員会として.....	7
〔主な事業報告〕	
祭式研修会・教養研修会.....	8
御田植祭・抜穂祭.....	9
野球大会中止時研修旅行(神奈川神青交流会).....	10
昇級者・退会者慰労会.....	11
平成二十年度むすび会事業報告(表).....	12
平成二十年度役員・幹事・正副委員長氏名.....	13
新入会員紹介.....	14
退会者、結婚、第一子誕生紹介.....	15
広告掲載(協賛社).....	16
編集後記・お知らせ.....	20
お知らせ.....	21

表紙写真／伊勢神宮式年遷宮広報本部
(神社新報社)より



二年間を顧みる

栃木県青年神職むすび会

十八代会長 小幡 正之

先ず以つて、聖寿の万歳と皇室の彌栄、神宮並びに会員各位の奉務神社、県下神社の愈々のご隆昌を謹んでお祈り申し上げます。

去る平成十九年三月の臨時総会に於いて、歴史ある栃木県青年神職むすび会の十八代会長就任以来、二年間に亘り微力ながらも大過なく務めさせて頂く事が出来ました。これも先輩諸兄をはじめ、会員の皆様のご支援とご協力に因るものと改めて感謝申し上げます。

ここ数年で、当会も会のスリム化を図り、様々な案件にも迅速に対応できるよう各種委員会を設置して、各担当分野では委員長を中心にして、役員執行部と共に充実した活動が展開出来き、スムーズな本会運営が行えました。顧みますと、任期期間中には創立四十五周年の佳節や、神青協地区理事の派遣(当番県)、ご遷宮に向けての諸活動など様々な事業がありました。なかでも、平成二十年三月十二日に開催しました「創立四十五周年記念大会」では、県内外より総勢一四〇名余りのご来賓、同士の参加を頂き、賑やかに盛大な式典を行いました。また、昨年の夏には古峯神社さんを会場に、当初はむすび会独自の研修会として企画をしたのですが、神社庁及び教化委員会との合同企画で、神職の教養を深めるべく、これからの國に在り方を考え、教育問題をテーマに、ありむら治子先生にも講師をお務め頂き、県内の神職を対象に教養研修会も開催出来ました。

更には、来る平成二十五年のご遷宮に向けても、特別委員会を設置して、その先達で神宮へ伺い正式参拝、前回の遷宮でのエピソードなどのご講演、施設の見学、神宮青年会との親睦交流を深める事も出来ました。

本年キーワードに掲げた「自己研鑽」についても、一連の当会活動のなかで、会員がそれぞれ物事を考え、今後日々の社務に役立ててくれる物と確信しております。

急速な時代の流れの中で、本会の会員もどんどん若返り、時代に合った変化・対応も必要とされるでしょう。

「むすび会」の精神は、神道の興隆を基に、自己研鑽と会員の親睦を図る組織ではありますが、むすび会の活動を通しての経験は、将来それぞれの立場でより大きな事業の展開や、社務運営の際、困難に直面した時などお互いに励まし、助け合える強い絆をつくる絶好の機会でもあります。

後輩諸君へ、次期は荒井新会長のもと、先輩諸兄が厚き情熱を注がれ、築き上げた当会の歴史伝統に鑑みて、混迷極める現代社会に対応した新たな活動を展開して下さい。

会員それぞれが思い描く、むすび会の在り方をじっくりと話し合っ、何を為すべきかを十分に検討し目標に向かって邁進して下さい。

長い間、本当にお世話になりました。



就任挨拶

栃木県青年神職むすび会

十九代会長 荒井 和宏

謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げますとともに、神宮におかれましても諸祭儀恙なく齋行されておりますこと、慶賀に存じ上げます。

去る平成二十一年二月十九日、臨時総会に於いて小幡正之會長の後任として第十九代会長に就任することとなりました。

もとより浅学非才な身であり、未熟者な私に重責が務まるのか不安でございますが、役員共々一致団結し、誠心誠意努力してまいる所存でございます。

当会では、来る平成二十五年齋行の第六十二回神宮式年遷宮に向け、啓蒙活動を推進する為十九年度より「遷宮特別委員会」を立ち上げ広報等の活動を行なっておりますが、今期より神宮大麻頒布推進活動にも特に力を入れ「神宮大麻頒布推進委員会」を独立設置し、大麻増頒布の為の活動を県内モデル支部と情報交換を密にし、展開してまいりたいと存じます。そして同じく平成二十五年には当会創立五十周年の佳節を迎えることとなります。本年度より「五十周年準備委員会」を設置し、各種記念事業など遺漏無きよう諸準備を進めて参りたいと存じます。

昨今、未曾有の経済危機の中、また世情の移り変わりの中、神社界においても物心共に非常に厳しい局面に立たされていると思われまふ。日本人が本来の心を取り戻し、古来より受け継いできた伝統文化を今後絶えず事無く次代に継承するべく、青年神職として日々研鑽を怠らず地域社会における教化実践に

努め、混沌とした世の中を明るく未来となる様、会員一同邁進してまいります。

当会会則の通り、自己研鑽と会員相互の親睦を図り、諸先輩方が築き上げたむすび会の名を汚さぬ様、会員個々が自覚を持ち積極的に行動し、諸活動を継続発展させてまいります。

会員各位におかれましては、斯界の尖兵としての自覚を持ち青年らしく行動力を以って、共に汗を流し共に語り合い、共に学び会員相互が広く交流し強く繋がりますよう。個々の研鑽がむすび会はもとより斯界にとって大きな力となる事は言うまでも無く、神職として今後必ず大きな財産となるはずで

す。諸先輩の皆様には、今後も温かいご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。





ご挨拶

神道青年全国協議会 地区理事
神青協一都七県協議会 会長

伊原 弘之

先ず以ちまして、謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお祈り申し上げます。

さて、今期の二年間を振り返ってみると非常に密度の濃い活動が出来たと思います。

むすび会創立四十五周年、神青協創立六十周年、神青協関東地区主管による中央研修会など、多岐に亘りました。先ず一年目の神青協での活動は、主題を国家主権とし、夏期セミナーや勉強会など様々な活動を展開してきました。北海道根室において北方領土早期返還祈願祭の執行、沖縄県の波照間島での国家安寧祈願祭の執行、殊に竹島に関する問題については、役員で島根県まで足を運び勉強会の開催、島根県主催による「竹島の日」記念式典参列、島根神青主催による竹島領土平安祈願祭参列など領土問題に関する認識を深めることが出来ました。中央研修会に於いては、担当県となった千葉神青の会員を中心に、一都七県の会員が協力し「日本人の命脈」くつなげよう命、伝えよう使命くと題した研修会を成功裡に収めることが出来ました。

そして二年目となった本年は、神青協でも「道義国家再生」を主題として、併せて神青協創立六十周年の節目の年を迎え、主題を「絆く喚起しよう結びの心」として記念事業も一層多岐に亘る活動を展開してきました。

五月には「神主さんの伊勢街道参宮団く全国の」こころを絵馬に託して」と題し、三日間延べ三百人の会員が全国より募集し

た紙絵馬を懐中し、伊勢街道を四日市の日永の追分から内宮までの約八十キロを徒歩にて進め神宮へ奉納参拝する事業を行いました。栃木県からも二名参加し、先ず体験するといふ活動の重要性を示した事業となったと思います。

八月に行われた夏期セミナーでは「私たちの憲法を作らう」憲法の基礎となるべき神道精神について考へる」と題し、三日間の研修では参加者が五つの分科会に分かれ、憲法改正について少人数での対話や議論がなされ、参加者の意思の疎通を図ることが出来、大綱案を作成し、現在も発表に向け神青協の教化委員会で調整しております。

英霊顕彰事業でも十月に「戦没学徒に関する研修会」を開催しました。本年は昭和十八年の十月二十一日明治神宮外苑陸上競技場にて「出陣学徒壮行会」が行われ、本年度で六十五年目に当たる為、この「学徒出陣」が何であったかを再認識すべく研修会が企画され、翌日には淡路島の追悼施設「若人の広場」で全国戦没学徒追悼祭が全国十地区よりの代表者で奉仕し齋行されました。

三月には六十周年の記念事業の一環として行われた「神道少年団」第一弾で「日本の領土く日本最南端から我が国を望む」として全国より子供たちを波照間島に集め勉強会を開催しました。

今期の二年間での様々な活動を通じて得られたことを、今後の活動に生かしてゆきたいと思えます。ご報告がてら御挨拶いたします。

むすび会神宮研修会参加報告

◆神宮研修会参加報告

平成二十年九月二十五日・二十六日の二日間、
 本会創立四十五周年記念事業の一環として伊勢神宮において、むすび会神宮研修会を開催した。

来る平成二十五年に行われる第六十二回神宮式年遷宮に向けて奉賛活動が開始されており、当会においても神社庁・県奉賛本部のもとで取り組む遷宮奉賛活動への一助とし、むすび会会員各自の神宮の御事と式年遷宮への理解をより深めるべく企画が実施された。

第一日目は近鉄宇治山田駅集合後、ご好意により神宮司庁のマイクロバスで外宮に移動、神宮神青会員の方の迎えをいただき豊受大神宮の御垣内参拝、別宮多賀宮、風宮、土宮へ御由緒などの説明を受けながら参拝、その後平成十二年改築された外宮神楽殿にて神楽を奉納。 (写真①)

午後には内宮へ向かい、皇大神宮の御垣内参拝、別宮荒祭宮、風日祈宮への参拝。

団体旅行では時間の都合で内宮外宮とも別宮の参拝は遙

特集 遷宮に向ひて

拝所からになりがちであるが、今回は充分の時間のなかで両宮域をご案内いただくことができた。(写真②)



▲写真①



▲写真②

むすび会神宮研修会参加報告

所管社の一二五社に神々が奉祀されており、その中にも社殿を設けず古のままに磐座に祀られる神や、遠隔の地に祀られる御社があること、そして両正宮に準じて全ての御社でも祭典が営まれており、年間千数百回の祭祀が古より変わることなく齋行されている。

遷宮諸行事の内、内宮神域の入り口の五十鈴川にかかる宇治橋の架け替えが、最初の造営となり、橋の下流側には仮橋のための杭が打たれ工事が行われており、平成二十一年に新橋の渡始式が予定されているとの事である。

また、遷宮諸祭のうち重儀とされる鎮地祭が天皇陛下の御治定により、去る四月中に各宮にて齋行され、両正宮の



▲写真③

翌日は神宮会館において、神宮権禰宜の鳥海芳行氏より「式年遷宮と奉賛活動」と題しご講話をいただき、(写真③)その後には皇學館大学神道博物館の見学を行い二日間の日程を修了した。(写真④)

神宮には皇大神宮と豊受大神宮の両正宮を始め、別宮、摂社、末社、

新御敷地には板垣が廻らされ新殿建立に先立ち白石清石を除く作業が行われており、遷宮を迎える準備が進められている様を伺うことができた。



▲写真④

むすび会神宮研修会参加報告



▲写真⑤

◆9月25日

9:00	集合 宇治山田駅
9:10	移動
10:00	外宮参拝 施設見学
12:00	昼食
13:00	移動
14:00	内宮参拝 施設見学
16:30	神宮会館入り 入浴等
17:30	移動
18:00	懇親会 (神宮青年会)
20:00	二次会
22:00	各自就寝

◆9月26日

6:00	起床
6:30	朝拝 (猿田彦神社)
7:30	朝食
8:30	移動
9:00	講演 (鳥海講師)
10:30	移動
11:00	施設見学 (皇學館大學博物館)
12:30	昼食
13:30	解散

天武天皇のお定めにより、持統天皇の御代に始められた二十一年一度の神宮式年遷宮は、準備の期間から両正宮をはじめ別宮などの御造営、遷御などの全ての行事を終えるのに多くの年月を要し、まさに「皇家第一の重事、神宮無双の大営也」とされる一大祭典であり、わが国を挙げて奉賛の誠を捧げ、悠久に受け継ぎ護り伝えてゆくべき歴史文化でもある。

緑深き神宮の神域に、新殿奉建の槌音が高く響き亘り造営の工事が恙無く進められ、千木高く麗しき新殿の奉建が成り、遷御の儀が美しくご齋行いただけるよう、遷宮の啓発と奉賛活動に務めてゆく想いを新たにしたい。

今回の研修については、受入いただいた神宮司庁、神宮神道青年会の皆様に対し参加者一同深く感謝申し上げるものであり、且つご歓待にあずかり両会の親交を深める機会ともすることができた有意義な研修となった。(写真⑤)

(金子 宗人)



遷宮特別委員会

◆神宮奉賛・大麻頒布推進委員会の活動報告

平成二十五年度の第六十二回式年遷宮に向けて、新たに設けられた神宮奉賛・大麻頒布推進委員会では、参宮促進と家庭祭祀促進のための一助とすべく、神社本庁により制作された「神宮のミニ写真帳（日本文と英文の説明付）」及び「家庭のおまつり」のリーフレットを、二千組準備して大手旅行代理店より一般旅行者に配布していただけるよう、依頼を行いました。

また、当会員としての御遷宮への意思高揚を目的として、平成二十年九月二十五日・二十六日の二日間、本会創立四十五周年記念事業の一環として、伊勢神宮において、むすび会神宮研修会を開催しました。

直接神宮へ参拝して、前回の遷宮のときのご苦労された話などを伺いしつづ、関係の場所を見学させていただきました。

なお、研修に際しましては、神宮の関係者の皆様にはご厚情により迎えていただきましたこと・また大変わかりやすく案内していただきましたこと、深く感謝申し上げます。

最後に、遷宮にむかひて荒井会長新体制の下、むすび会会員一同、邁進して活動して参ります。





祭式研修会

昨年度に続き、五月十三日栃木県神社庁に於いて、祭式研修会が行われました。講師には当会第十一代会長を務められた柳田文司先生をお迎えし、参加した二十六名の会員が祭式並びに有職故実を学びました。

研修は、まず基本動作についての確認をし、その後大祭に則り実演形式での演習と正服の一人での着装について行われました。

今回の研修は、各支部で行われる祭式研修会の前段階としての位置づけでしたが、今回受講しただけでも、動作の確認や知識を深めるものとして十分な内容でした。

祭式は神社で奉仕する私たちにとりまして、基本的なことであります。これからも神様に対して失礼の無いよう、今回の研修を糧に神明奉仕に努めたいと思います。

(中里 元彦)

受付	9:00
開講式	9:15
基本祭式 (2.5H)	9:30
昼食	12:00
総合演習 (2H)	12:30
休憩	14:30
総合演習 (1.5H) (献幣使用法を中心に)	15:00
閉講式	16:00
解散	17:00



教養研修会

八月二十日と二十一日の二日間、古峯神社に会場をお借り致しまして、第三十二回教養研修会が行われました。

参議院議員・有村治子先生により、「国会での改正に伴う経過と論議について」「今後の課題」。太平山神社宮司・小林一成先生により、「教育基本法とは」「戦後教育の流れ」「改正後の比較」「神職の取組み」と題しまして講話を頂きました。現代社会において大きな問題であります「教育」。戦前の教育と現代の教育。現代の日本に欠けているもの、これからの教育に必要なものとは何か。戦後教育を受けた人達の子供の世代が親になった現代。給食で「いただきます」という言葉をなぜ言わせるのかとクレームをつける親。給食費を払っているのだから言う必要はないという内容で、私の世代でさえ驚いてしまいます。農家の方や給食を作ってくれた方に感謝するのはもちろんのこと、「いのち」を頂いて自らの「いのち」をなからえることができる。「いのち」を頂いているということを親も理解していなければそれを説明できない先生にも問題があるのかもしれない。「モンスターパーアレント」という言葉までできてしまった現代と、これからの教育にとって神職は何ができるのか、真剣に取り組んでいかなければなりません。

(櫻木 理史)



御田植祭・抜穂祭

むすび会研修委員会では、当会会員であります滝口貴史さんの御実家より御神田をおかりしまして、五月七日に「御田植祭」を、十月八日には「抜穂祭」を其々執行致しました。荒井副会長の齋主のもと厳正に神事を執行し豊穰と感謝の祈りを捧げ、豊かに稔りました稲穂は伊勢の神宮へ「神宮神嘗祭懸税」として御奉納申上げました。

栃木県は律令時代よりの東国穀倉地帯、毛野國としての名に相応しく全国の米生産高は八番目であります。(平成十七年度統計・三重県は二十番目)



古代、狩猟から農耕への変化は、食糧確保という不安から人々を開放し生活の安定と日々の平和をもたらしました。故に、農耕と年中行事には極めて深い関わりが發生し、主食であり一年草である稲作は、播種・田植・収穫・予祝・虫送・鳥追・雨乞等の各儀礼が捧げられ稲に対する人々の特別な思いが感じられます。春山より来る神の力をふんだんに宿し豊穰の限りを尽くした稲

穂の米粒は、神の恵の凝縮した賜物とも言えます。そして、これを食し力や生命を体内に宿すことは、神と人との共に生きる頭れとなります。

この研修を通じ、全てのものは大いなるものより頂くものであることを、感謝のこころの大切さを感じました。

(町井 康祐)





野球大会中止時研修旅行

平成二十年十月六日に予定されていた、第十二回一都七県神職野球大会でしたが、雨天のために中止となってしまいました。このため予定を変更し、研修と会員同士の親睦を兼ねて研修旅行を行いました。

今回は、群馬県に鎮座する一之宮宮貫前神社と鷲宮咲前神社を、参拝させていただきました。朝も早く、また急な申し出であったにもかかわらず、両神社宮司様をはじめ、職員の皆様は、快く出迎えて下さいました。

一之宮宮貫前神社では、三嶋宮司様が自ら、重要文化財である貫前造りといわれる特徴的な造りの社殿など境内を案内して下さい、宝物館の見学もさせて頂きました。

鷲宮咲前神社を参拝した際には、非常にお忙しい中、和田宮司様は神社の案内に加えて、昼食のお付き合いいただき、もてなして下さいました。

今回の研修旅行では、両神社の宮司様から神職として見習うべき態度・応対の姿勢など若手が学ぶべきことが多々ありました。また会員同士の親睦を深める良い機会でもあったと思います。大会中止で練習の成果を出せなかったことは残念でしたが、実り多き研修旅行となりました。

(田邊雅祥)



神奈川神青交流会

神奈川県神道青年会との親睦会が六月二十日、また十月二十四日に行われました。

六月二十日、今にも雨が降りそうな曇り空のなか神奈川県横浜市の会場にてフットサルの試合をおこないました。神奈川は、部活というだけあってユニホームも揃っており、胸には「WHITE SOX」のチーム名。何より人数の多さに驚きました。試合の方は、勝ったり負けたり、非常に熱気溢れる試合となりました。

十月二十四日、宇都宮にて前回に引き続きフットサルの試合をする予定でしたが、残念ながらこの日の天気は雨。急遽予定を変更してボーリングをすることとなりました。神奈川神青では、只今ボーリングが空前の大ブームとあってどの方もレベルが非常に高く、恥ずかしながら当会一同、足元にも及びませんでした。しかし、栃木・神奈川混ざり合ってハイタッチをする場面なども多く見られ、前回のフットサル同様非常に賑やかな会となりました。

普段、他県の神職の方々と接する機会が非常に少ない中、こうしてスポーツを通して、またお酒を飲み交わし和気あいあい有意義な時間を過ごせた事を大変うれしく思います。

ご多忙の中、この度参加頂きました会員の皆様ありがとうございました。今後もスポーツや様々な活動を通して当会並びに他県の方々とも親睦を深め、日々の神明奉仕に努めていきたいとおもいますので宜しくお願ひ致します。

(板垣 喜充)





昇級者・退会者慰労会



◆神職身分昇級祝賀会

平成二十年十一月二十日(木)栃木市柏倉町の柏倉温泉太子館にて、むすび会主催の『平成二十年度神職身分昇級祝賀会』が行われました。昇級されました方々は左記のとおりです。

二級上昇進者

三箇神社 宮司 吉田 正導 様

二級昇進者

鹿島神社 宮司 小幡 正之 様

示現神社 宮司 和地 秀美 様

平田神社 宮司 川村 好一 様

星宮神社 宮司 林 唯元 様

今年度は、昇級された方々全員のご参加を頂きました。祝賀会冒頭の昇級者の皆様の挨拶はどれも示唆に富む話ばかりで、会員一同むすび会の在り方を改めて考え直す機会となりました。また、会員間の親睦をはかることも祝賀会の大きな事業目的の一つとしており、昇級者の方々を始め、会員同士胸襟を開いたとても和やかな懇親の席となりました。今年度より入会した私におきましても、常日頃会うことのできない諸先輩方と夜遅くまで楽しく交流でき、大変有意義な時間を持てましたこと、とても有り難く思います。

今後、昇級者の方々を始め多くのむすび会員の皆様のご参加により、このように華々しく祝賀会を開催出来ました事、心より感謝申し上げます。
(上野 敬則)

平成二十年度 栃木県青年神職むすび会事業報告

(平成二十年)

- 四月 七日 氏青・むすび会合同コンペ 太平洋クラブ益子コース
- 四月二十四日 神青協 第六十回定例総会 本社本庁
- 四月二十八日 県内神社例祭 会員奉仕 栃木県護国神社
- 五月 七日 御田植祭 那須烏山市志鳥
- 五月 七日 第一回 役員・幹事・正副委員長会議 宇・二荒山神社
- 五月 十三日 祭祀研修会 本社庁
- 五月 十三日 定例総会 本社庁
- 五月二十一日 とちのみ学園開園記念式典参列 佐野市
- 五月二十六～二十八日 神青協六十周年記念 伊勢街道参宮団(四日市・津・松坂・内宮) 那須御用邸
- 六月 九日 那須御用邸除草奉仕 那須御用邸
- 六月十一～十二日 神青協一都七県協議会定例総会 千葉県 十名参加
- 六月二十日 神奈川神道青年会とフットサル交流会 神奈川県 神奈川県
- 七月 八日 第二回 役員・幹事・正副委員長会議 宇・二荒山神社
- 七月三十日 会員親睦ゴルフコンペ・納涼会 パークレイ・パンドラの箱
- 八月 十八日 会員家族親睦会 上三依
- 八月二十～二十一日 神社庁教化委員会・むすび会合同教養研修会 古峯神社
- 八月二十六～二十八日 神青協夏期セミナー 國學院大學
- 九月 二日 第三回 役員・幹事・正副委員長会議 宇・二荒山神社
- 九月二十二日 むすび会野球紅白戦 駒生球場
- 九月二十五～二十六日 四十五周年記念事業 神宮研修会
- 九月二十九日 むすび会野球紅白戦 今市運動公園本球場
- 十月 六日 臨時研修旅行 伊勢市
- 十月 八日 抜穂祭 群馬県
- 十月二十～二十一日 英霊顕彰運動の推進研修 那須烏山市志鳥 生田神社

- 十月二十四日 神奈川神道青年会と交流会 宇都宮市内
- 十一月二十日 第四回 役員・幹事・正副委員長会議 栃木市 太子館
- 十一月二十七日 昇級者祝賀会・退会者慰労会 神宮外苑
- 十二月下旬 全国青年神職野球大会
- 十二月下旬 神宮大麻頒布増対運動

(平成二十一年)

- 一月二十二日 第五回 役員・幹事・正副委員長会議 宇・二荒山神社
- 二月 九日 埼玉神青創立五十五周年記念式典 大宮
- 二月 十一日 建国記念の日記念式典 宇・二荒山神社
- 二月 十九日 臨時総会・新年会 宇・二荒山神社
- 三月十～十一日 神青協中央研修会 愛知県 静岡県
- 三月十一～十二日 一都七県協議会研修会 愛知県・静岡県
- 三月二十五～二十七日 神青協少年研修 沖縄県



平成二十年度 むすび会役員・幹事氏名

〔役員〕

会長	小幡 正之	鹿島神社	宮司
副会長	香取 正義	日・二荒山神社	権禰宜
副会長	荒井 和弘	宇・二荒山神社	権禰宜
事務局長	佐藤 智則	宇・二荒山神社	権禰宜
庶務	滝口 貴史	八坂神社	権禰宜
会計	田中 教文	滝尾神社	宮司
監事	宇賀神直人	大田原神社	宮司
監事	伊藤 史展	塩釜神社	権禰宜
監事	沼部 博成	須賀神社	権禰宜
議長	野崎 正之	宇・二荒山神社	権禰宜

〔幹事〕

宇河支部	加古 英之	護国神社	権禰宜
宇・二荒山神社	金子 宗人	権禰宜	権禰宜
芳賀支部	小堀 真洋	八雲神社	宮司
塩谷支部	岩松 史恵	津島神社	権禰宜
南・北那須支部	津田 宏	乃木神社	権禰宜
上都賀支部	福田 財大	今宮神社	権禰宜
日・二荒山神社	町井 康祐	日・二荒山神社	権禰宜
古峯神社	櫻木 琢也	磐根神社	権禰宜
下都賀支部	新井 隆宏	朝日森天満宮	権禰宜
唐沢山神社	永澤 宣浩	朝日森天満宮	宮司
安佐・足利支部	永澤 宣浩	朝日森天満宮	宮司

むすび会 四十五周年実行委員会・各種委員会氏名

〔四十五周年実行委員会〕

会長	香取 正義	日・二荒山神社	権禰宜
副会長	野崎 正之	宇・二荒山神社	権禰宜
事務局	滝口 貴史	八坂神社	権禰宜
計	福田 光弘	高籠神社	権禰宜

〔研修委員会〕

委員長	町井 康祐	日・二荒山神社	権禰宜
副委員長	荒川 千裕	住吉神社	権禰宜
副委員長	加古 英之	護国神社	権禰宜

〔事業委員会〕

委員長	阿久津喜大	三祖神社	権禰宜
副委員長	佐藤 洋誠	日・二荒山神社	権禰宜
副委員長	葭田 真彦	八坂神社	権禰宜

〔親睦委員会〕

委員長	福田 財大	今宮神社	権禰宜
副委員長	早乙女和弘	太平山神社	権禰宜
副委員長	大阿久岩貴	春日神社	宮司

神道青年協議会役員

〔神道青年全国協議会地区理事〕

伊原 弘之

日・二荒山神社

権禰宜

〔神青協一都七県協議会会長〕

柳田 耕史

大前神社

権禰宜

〔神青協一都七県協議会事務局〕

柳田 耕史

大前神社

権禰宜

〔遷宮特別委員会〕

委員長	金子 立	今宮神社	宮司
副委員長	小堀 真洋	八雲神社	宮司
副委員長	金子 宗人	宇・二荒山神社	権禰宜

新入会員紹介



武内 亜矢子
たけうち あやこ

住所：日光市今市七四三

生年月日：昭和54年9月15日

奉務先：報徳二宮神社、権禰

宜

趣味・特技：読書

座右の銘：神恩感謝

好きな異性のタイプ：誠実な方

これからの抱負など：少しでも役に立てる様に頑張りますので、宜しくお願い致します。



福田 直之
ふくだ なおゆき

住所：日光市山内二三〇七(社)

生年月日：昭和58年3月4日

奉務先：日・二荒山神社、権禰

宜

趣味・特技：散歩

座右の銘：誠心誠意

好きな異性のタイプ：思いやりのある人

これからの抱負など：日光二荒山神社に奉職して約八ヶ月を迎えます。世界遺産に登録された日光は、神社の杜を守りながら環境にも人一倍気を付けている街です。美しい街・歴史の街・環境に優しい街に鎮守するお社で神明奉仕に励みたいと思います。



上野 敬則
うえの たかのり

住所：河内郡上三川町しらさぎ一四一・六

生年月日：昭和59年4月16日

奉務先：白鷺神社、権禰

宜

趣味・特技：スノーボード・テニス

座右の銘：一寸の光陰軽んずべからず

好きな異性のタイプ：柴崎コウ

これからの抱負など：むすび会に入会でき、とても光栄です。諸先輩方との交流を通じ、神道や神社界への知識を深め、少しでも神社界の発展に寄与できますよう尽力して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。



高橋 林乃介
たかはし りんのすけ

住所：日光市所野二八四四・一

生年月日：昭和60年2月14日

奉務先：今宮神社、権禰

宜

趣味・特技：映画鑑賞

座右の銘：明朗

好きな異性のタイプ：気が合う人

これからの抱負など：本年度より、むすび会に入会させていただきます。まだまだ一神職、一社会人として未熟ですので、皆様にはご迷惑をおかけするかとはい思いますが、諸先輩方のご指導の元、日々頑張りますので、今後とも宜しく申し上げます。



田邊 達也
たなべ たつや

住所：那須塩原市東栄一・一

一東栄マンションA一〇七号室

生年月日：昭和61年3月10日

奉務先：黒磯神社、権禰

趣味・特技：DVD鑑賞

座右の銘：夢にときめけ、明日にきらめけ

好きな異性のタイプ：眼鏡が似合う、寝顔のカワイイ人

これからの抱負など：本年度より、栃木県青年神職むすび会に入会させて頂きました。社会人としても一人前になれるよう、努力しようと思っています。諸先輩方には、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導頂き、頑張りたいと思いますので、今後とも宜しく申し上げます。

◆退会者紹介◆

小幡 正之

奉務先：鹿島神社 宮司
生年月日：昭和42年10月6日
コメント：今出来る事の実行・自己研鑽と会員の親睦を語り、強い組織であれ。

伊原 弘之

奉務先：日・二荒山神社 権禰宜
生年月日：昭和42年5月17日
コメント：十八年間いろいろと勉強させていただきました。残る方々は視野をひろく持って活動してください。

香取 正義

奉務先：日・二荒山神社 権禰宜
生年月日：昭和42年6月7日
コメント：十八年間大変お世話になりました。誠にありがとうございます。

大河原 肇

奉務先：古峯神社 権禰宜
生年月日：昭和42年6月24日
コメント：これからのむすび会の皆様の、益々のご活躍をお祈りいたします。長い間お世話になりました。

鷹著 久志

奉務先：古峯神社 権禰宜
生年月日：昭和42年12月30日
コメント：長い間、お世話になりました。皆様の、益々の御活躍をお祈り申し上げます。

金子 立

奉務先：今宮神社 宮司
生年月日：昭和43年1月14日
コメント：中途入会でしたが、皆様のおかげでも有意義な活動ができました。今後の皆様の御活動をお祈りします。

宇賀神 直人

奉務先：大田原神社 宮司
生年月日：昭和43年3月23日
コメント：長い間お世話になりました。むすび会の益々のご発展と会員皆様のご活躍をご祈念申し上げます。

祝ご結婚

稲葉 成孝

奉務先：日・二荒山神社
挙式日：平成21年2月14日
式場：日・二荒山神社本社
新婦氏名：直子（なおこ）旧姓・加藤
本人のコメント：いつも笑顔のある、楽しく暖かい家庭を築きたいと思えます。

奥さんより一言：二人で力を合わせて、頑張っていきたいと思えます。

祝ご誕生

秋元 亮平

第一子氏名：秋元 佐保（さほ）
生年月日：平成20年3月8日
親からの希望：此の度は、第一子佐保を授かりまして、大変嬉しく思っております。これから先、様々な事があると思いますが、真つ直ぐに育つていってほしいと思えます。

金子 宗人

第一子氏名：金子 真悠（まゆ）
生年月日：平成20年11月6日
親からの希望：健やかに成長してほしい。のびのびと育んでゆきたいと考えております。

津田 宏

第一子氏名：津田 頼人（らいと）
生年月日：平成20年7月10日
親からの希望：自分に敵しく、他人に優しくできる、思いやりの人間に育ってほしいです。



広告協賛者一覽

◆ご協賛ありがとうございました◆

各授与品、記念品奉製

金襴綿守、合成樹脂製守、紙札守
木札、金属製守、反射ステッカー

●その他各種授与品御希望に奉製致します。

株式会社 三愛工芸

〒311-4143 水戸市大塚町字谷津1761-16
TEL 水戸 (029)251-2051(代)
FAX 水戸 (029)253-5844

授与品奉製



株式会社 神路社

本社 三重県伊勢市岩淵2丁目5番29号(私書箱第26号)
〒516-8611 電話番号 0596-24-5858 FAX 0596-24-5110
IP電話 050-3536-5273
URL <http://www.kamijisya.co.jp>
E-mail info@kamijisya.co.jp
神路 東京都渋谷区恵比寿1-11-1 エビス小林ビル21号
(東日本営業所) 電話番号 03-3280-6720 FAX 03-3280-6721
〒150-0013 IP電話 050-3539-3432
E-mail shinen_club@kamijisya.co.jp

足袋・和装用品代理店

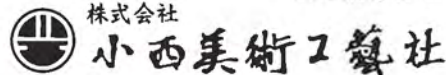


株式会社 福生

本社 〒761-8076高松市多肥上町61-1
営業所 〒590-0953堺市堺区甲斐町東1-2-30
フリーダイヤル 0120-29-0068
フリーダイヤル 0120-29-0051
ホームページ <http://www.tabiya.net/>

県内各神社様、工事拜命先(順不同)

日光東照宮	矢板木幡神社
日光二荒山神社	小川温泉神社
宇都宮二荒山神社	足利権崎八幡宮
真岡大前神社	佐野人丸神社
大田原那須神社	下野一社八幡宮
西那須野乃木神社	祖母井神社
氏家今宮神社	足利八雲神社
足利星宮神社	一瓶塚稲荷神社



株式会社 小西美術工芸社

〒321-1421 栃木県日光市所野2829-1
〒108-0014東京都港区芝4-4-5三田KMビル3階
TEL 日光(0288)54-1198(代) TEL 東京(03)5765-1481(代)

全国各神社 御用達

各神社のお礼お守のお手いをして100年
神符・神札 金守 守護矢 ステッカー 御守・木札
奉書・半紙 交通安全札 色紙・大麻

和紙製造印刷加工

有限会社 (井)丸井紙店

〒409-3600 山梨県市川三郷町市川大門763 TEL 0552-72-0136
FAX 0552-72-3966
・振替甲府6-2275 ・取引銀行 山梨中央銀行 市川支店
みずほ銀行 甲府支店



〈営業品目〉 ●交通安全御守護
●開運招福鈴
●文鎮 金盃
●各種記念品類
●胸像・レリーフ・铸造類

鈴木徽章工芸株式会社

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-12-1
TEL 03-3814-1811 FAX 03-3818-8332
E-mail info@suzuki-kisho.co.jp
<http://www.suzuki-kisho.co.jp>

ルーペ(文字拡大鏡)大好評!!



東京 神奈川 新潟
秋田 滋賀 鳥取
各社社内で採用され
ました!!
飾って美しく、
使っても便利。

デザインは、鳳凰・狛犬の2種類
特別価格 1,300円

~「チルダ」記号はシフトキーを押しながら
日本語の「へ」を押すと出るよ!! Shift+へ

<http://www5.ocn.ne.jp/~kokudo88/>

!!詳しくはホームページをご覧ください!!
お気軽にご相談下さい(仲林まで)
コクド環境株式会社
〒332-0032 埼玉県川口市中青木3-12-22
TEL (048)241-8256 FAX (048)241-8256(代)

営業品目

縁起物入おみくじ・金属製守・木札守・紙札守
金襴綿守・各種熊手・守護矢・朱印帳

おまわりの奉製

株式会社 阿部

本社・工場 〒323-1104 栃木県下都賀郡藤岡町藤岡213-7
TEL (0282) 62-1010 (代表)
FAX (0282) 62-2061

お祭りに間に合わせたい!

少ロットの注文なんだけど...

何を揃えたら良いですか?

修理、修復してほしい

別誂、特注で制作してほしい

神
祭
具
に
関
する
ご
用
命
は

株式会社 民俗工芸
TEL 0120-534-550
FAX 0120-872-550

「まかせて安心」の民俗工芸まで
お気軽にご相談下さい。

土曜日も平常通り営業致しております。

神祭具・御装束・雅楽器類
結婚式場調度

(株)高善装束店

代表取締役 桑 眞一

〒113-0021 東京都文京区本駒込3-2-9
TEL 03(5815) 8771
FAX 03(5815) 8772

御社頭授与品奉製

※御希望通りの御調製申し上げます。
御一報次第参上致します。

新日本工芸株式会社

〒311-4153
茨城県水戸市河和田町3891
電話 (029) 251-0997(代)
FAX (029) 252-8287

誠実と真心で奉仕する
御守・授与品・参拝記念奉製

御一報次第カタログ御送り致します。

グリーン産商株式会社

代表取締役 柚木 忠

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL 大阪(06) 6702-6009番(代)
FAX 大阪(06) 6797-5896番



伊勢名物 岩戸餅

お食事・休憩・おみやげ……。

伊勢神宮に一番近い店
伊勢内宮前

岩戸屋

〒516-0025 伊勢市内宮前 ☎ (0596) 23-3188 FAX (0596) 28-1322
<http://www.iwatoya.co.jp>
E-mail: iwatoya@iwatoya.co.jp

創業140年

各種御神符・守札
その他授与品全般

湊御神符奉製所

株式会社 湊

伊勢市神宮会館前(〒516-0025)
TEL (0596) 22-2442 (代表)
FAX (0596) 28-8445



内宮に一番近い宿・どなたでもご利用いただけます

早朝参拝のご案内をしております



(財)伊勢神宮崇敬会

一ご宿泊に関するお問い合わせは—

〒516-0025 伊勢市宇治中之切町152
TEL.0596-22-0001/FAX.0596-22-1517

<http://www.jjngukaikan.jp>

遠宮で結ぶ人の輪心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

総合印刷

(株)井上総合印刷

代表取締役 井上光夫

本社 宇都宮市岩曾町1355

TEL (028)661-4723

FAX (028)662-7607

全国各神社御用達

神符・守札・木札・ビニール守・錦守・集印帳
交通安全守・御守袋・守護矢・ステッカー
奉書紙・書道半紙・画仙紙・色紙・他

創業100年 真心で奉仕する



代表取締役 今村 力男

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門6237-11
TEL 055(272)0514(代)
FAX 055(272)8818



麻・鈴緒・合織α繩(注連繩)製造

株式会社 モミヂヤ

〒328-0042 栃木市沼和田町12-14
フリーダイヤル 0120-22-1312
FAX 0282-22-1387

<http://www.t-cnet.or.jp/~momidiya/f-top>

社寺建築請負い

株式会社 石川工務店

代表取締役 石川 明

〒321-1406 栃木県日光市松原町1233番地
TEL 0288-53-0408

宮内庁
神社本庁・栃木県神社庁・各県神社庁
全国神社・小笠原流弓馬術礼法教場

御用達

株式会社 大槻装束店

東京・上野駅前

東京都台東区東上野3丁目17番9号

電話 03(3835)3201(代)

FAX 03(3835)0617

<http://www.ootsuki-shozokuten.com>

CREATIVE AGENCY 総合広告会社

株式会社 下野社

下野新聞社専属広告代理店

栃木放送専属広告代理店
とちぎテレビ専属広告代理店
リビングマロニエ広告代理店

栃木県広告業協会会員

宇都宮市昭和1-7-9 下野ビル4F
TEL028-622-3993 FAX028-622-3933



祈りをかたちに

神社授与品・記念品御奉製

株式会社 長谷川製作所

代表取締役 長谷川 和夫

本社 〒114-0004 東京都北区堀船3-20-13 TEL.03-3912-6161(代) FAX.03-3912-3131
草加営業所 〒340-0025 埼玉県草加市谷塚仲町466-1
TEL.0489-21-1221(代) FAX.0489-21-1515



創刊131周年 下野新聞社

本社/栃木県宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8686 TEL 028(625)1111(代)
http://www.shimotsuke.co.jp/
購読のお申し込みは

〒516-0024 伊勢市宇治今在家町117
TEL 0596-23-5555
FAX 0596-23-1928
URL http://www.senkuniya.co.jp

ようこそお伊勢さんへ

勢乃國屋では、豊富なおみやげ品、
伊勢の郷土料理を用意して、
皆様のお越しをお待ちしております。
どうぞお気軽にお立ち寄りください。

～ 伊勢路の土産と御食事処 ～



伊勢内宮前
勢乃國屋

〒516-0024
伊勢市宇治今在家町117
TEL 0596-23-5555
FAX 0596-23-1928
URL http://www.senkuniya.co.jp



京都奉製株式会社



環境にやさしい

おまもりをめざして

(仙台営業所) 宮城県名取市増田字南下
二五五-160 街区九番地
電話 〇二二-1381-1397
(フリーダイヤル) 〇二二-164-124

社頭授与品専門奉製所

(主要奉製品意匠権所有に付、侵害厳禁)

常陸神宝(株)

〒310-0067 水戸市根本1丁目53-4
☎ (水戸) 029 (227) 0511 (代)
FAX (水戸) 029 (227) 0512

神社・仏閣授与品奉正
縁起物企画・製作

奉正企画

代表 鈴木 誠二

〒312-0063
茨城県ひたちなか市田彦998-40
TEL 029 (272) 6900 (代表)
FAX 029 (272) 7997

高精細印刷

700線カラー印刷をお試し下さい

BEAMS ビームス700プレミアム 700 Premium

再現不可能な微細で高画質を再現印刷

ビームスとは…伴印刷が提唱する品質と環境保護を考えた
次世代の印刷システムです。

 伴印刷株式会社
宇都宮市保野6-10
TEL 028-622-8901 FAX 028-622-4525



編集後記

先ず初めに、本年度も『会報むすび』が発行できました事を、厚く御礼申し上げます。

これも偏に関係者方々のご協力と、広告協賛を賜りました尊社の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。

今年度(平成二十年度)は、小幡会長の下で「自己研鑽」をキーワードに各委員が活動をしてまいりました。広報委員としましては、それを『会報』にまとめ、発行を目指して参りました。その際、何かと関係者の方々には、何かとご迷惑をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。来年度(平成二十一年度)は、荒井会長の下、新たな体制で会員一同邁進して参ります。

最後になります。今後とも皆様方の更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

広報委員会 氏名

委員長	刀川 治久
副委員長	福田 光弘
副委員長	櫻木 琢也
委員	菅 浩二
委員	中里 元彦
委員	稲葉 成孝
委員	横瀬 勝宣
委員	櫻木 理史
委員	外鯨 泰子
委員	黒川 裕正

栃木県青年神職むすび会 頒布品

着帯のお祝い (安産祈願) **腹帯**



くじら尺を用いて、縁起の良い7尺5寸3分(約3m)に裁断し高級感ある桐箱に納めました。中の帯は縦に二つ折にし、巻き納めてあります。(解説書在中)

〈岩田帯〉

頒布価格(1箱)

¥1,000 (送料別)



栃木県青年神職むすび会頒布品 切麻



▲切麻(白)

▲切麻(五色・金銀入り)

切麻(白)・五色(+金銀入り)各1cm角をご用意し頒布しております。それぞれ、500g、1kgから取り揃えてありますので、必要量に応じてご利用下さい。

【頒布価格(送料別)】

- ・白500g ￥1,000
- ・白1kg ￥1,400
- ・五色500g ￥1,500
- ・五色1kg ￥1,900

通常価格
¥1,500



年度内価格

¥1,000(送料別)

〈サイズ：177×59cm〉

※ポールは扱っておりません。



式年遷宮に伴い、大麻頒布運動として

のぼりを頒布しております。

ご注文・問い合わせ

〒320-0015

栃木県宇都宮市八幡台14-24

栃木県神社庁内 栃木県青年神職むすび会事務所 宛

電話(028)625-2011 FAX(028)624-3217

